

# 日常診療 お役立ち BOX

## —産科／婦人科編

### 経腹エコーで診る女性の腹痛

習得難易度 ★☆☆

#### 監修

井上真智子

(浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授)

柴田綾子

(淀川キリスト教病院産婦人科医長)

#### 執筆



柴田綾子

(淀川キリスト教病院産婦人科医長)

本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶登録手続

- |                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 内診せずに産婦人科疾患を診断するには ————— p2     | 8. 妊娠6週以降なら経腹エコーで妊娠の確認ができる ————— p12 |
| 2. 月経歴の問診からわかる腹痛の鑑別 ————— p2       | 9. 卵巢出血のエコー所見 ————— p13              |
| 3. 性活動のある女性の腹痛では妊娠検査を提案する ————— p4 | 10. 卵巢嚢腫莖捻転のエコー所見 ————— p14          |
| 4. CT前に経腹エコーを ————— p5             | 11. 子宮筋腫に痛みがある時は変性を考える ————— p15     |
| 5. 経腹エコーは膀胱に尿がたまった状態で ————— p6     | 12. 高齢女性の下腹部痛や発熱と子宮留膿症 ————— p17     |
| 6. 経腹エコーでわかる女性の腹痛疾患 ————— p8       |                                      |
| 7. FASTで異所性妊娠や卵巢出血がわかる ————— p11   |                                      |

▶HTML版を読む

日本医事新報社では、Web オリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

# 1. 内診せずに産婦人科疾患を診断するには

「女性の腹痛＝産婦人科」と思っていないだろうか？ 実は、月経の間診と経腹エコーで多くの産婦人科疾患は診断可能である。「内診しないと婦人科疾患は診断できない」という誤解が多くある。ここでは、内科の診察室や救急室でできる女性の腹痛アプローチと経腹エコーでの子宮や卵巣の所見について解説していく。

## 2. 月経歴の間診からわかる腹痛の鑑別

女性の下腹部痛では月経歴を確認することで、鑑別が絞れる場合がある（急性腹症診療ガイドライン2015，推奨度B）<sup>1)</sup>。女性の腹痛で致命的疾患（表1）を見逃さないために、**バイタルサイン**，**発症様式**，**月経歴**を必ず確認する（図1）。

表1 緊急処置が必要な疾患

血管閉塞	心筋梗塞，肺動脈塞栓症
血管破裂	大動脈瘤破裂，大動脈解離，肝細胞癌破裂
腹腔内出血	異所性妊娠
腸管虚血/壊死	ヘルニア嵌頓，腸閉塞，腸間膜動脈閉塞症，S状結腸捻転
汎発性腹膜炎	消化管穿孔
炎症性の急性腹症	虫垂炎，急性胆嚢炎/胆管炎，胆石性膵炎，重症敗血症

（文献1より作成）

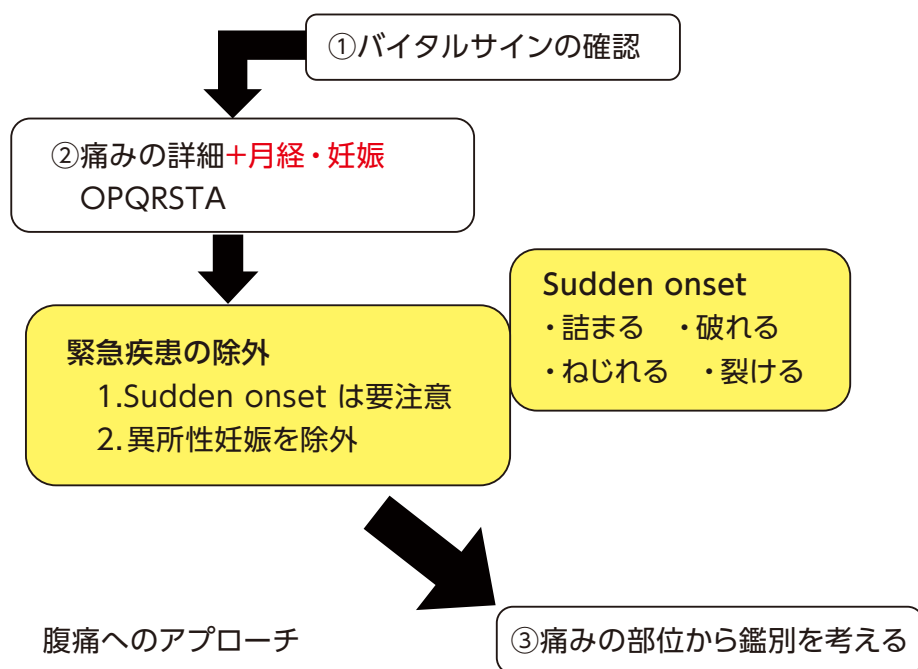


図1 腹痛へのアプローチ

OPQRSTA : **O**nset (発症様式), **P**osition (部位), **Q**uality (疼痛の性質), **R**adiation (放散痛), **S**everity (強さ), **T**ime (疼痛時間), **3A** [Aggravation factor (増悪因子), Alleviating factor (寛解因子), Associated symptoms (関連症状)]

## 1 バイタルサイン

頻脈, 低血圧, 頻呼吸, 発熱, 低体温は注意が必要である。頻脈は疼痛以外にも, (腹腔内) 出血による貧血, 敗血症, (腹腔内) 炎症の可能性を考える。急性出血では, 循環血液量の15%以下の範囲ではバイタルの変化が起こらず, 1000mL以上の出血になって頻脈と起立性低血圧が遅れて出現する<sup>2)</sup>。低血圧では, 出血性ショックや敗血症性ショックの可能性を, 頻呼吸は心疾患, 肺疾患のほかに腹膜炎, 腸閉塞, (出血性・敗血症性) ショックを鑑別に挙げる。発熱や低体温は, 炎症性疾患や敗血症で起こり, 低体温では菌血症/敗血症による死亡率が上昇する<sup>1)</sup>。

## 2 発症様式

突然発症 (sudden onset) の腹痛では「血管が詰まる, 血管が破れる, ねじれる, 裂ける」など, 緊急処置を要する疾患の可能性が高くなる。突然発症かどうかは「痛みは一瞬で強くなったか, 痛みが出た瞬間に何をしていたか」を確認する。

### 3 月経歴

月経の時期と起こりやすい婦人科疾患は以下のようなになる(図2, 表2)。

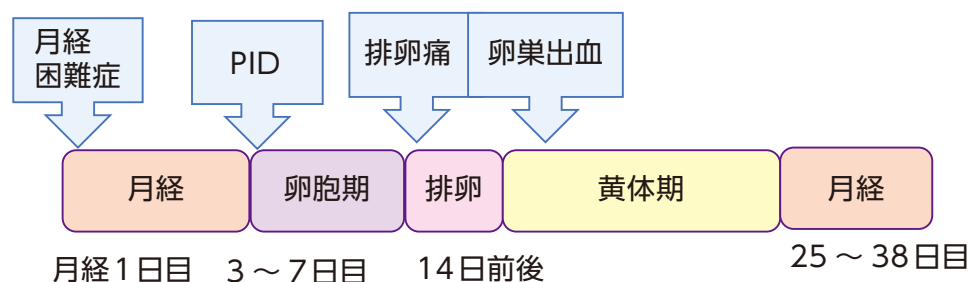


図2 月経歴と腹痛の鑑別

PID: pelvic inflammatory disease, 骨盤内炎症性疾患

表2 月経の時期と発症時期

月経困難症	月経1~2日目に多い
PID	月経終了前後に多い
排卵痛	月経と月経の間, 次の月経の12~14日前に起こる
卵巢出血	排卵期~黄体期に発症することが多い
異所性妊娠	妊娠6~7週に多い

## 3. 性活動のある女性の腹痛では妊娠検査を提案する

問診や身体診察だけで妊娠<sup>3)</sup>や異所性妊娠<sup>4)</sup>を診断・除外することはできない(表3)。そのため米国救急医学会は、「妊娠可能年齢の女性の下腹部痛」の全例に妊娠検査を行うことが望ましいとしている<sup>5)</sup>。わが国では、尿によるヒト絨毛性ゴナドトロピン(human chorionic gonadotropin: hCG)定性検査は正常妊娠時には自費となるため、検査する前に本人や保護者に説明が必要である(自費約2000円, 施設によって異なる。異所性妊娠の病名では保険診療となる)。